済州島宣言

第３回アジア太平洋ジオパークネットワーク済州シンポジウムは２０１３年９月７日から１３日まで韓国の済州島ジオパークで開催され、２５ヶ国から５６０人の関係者が出席した。

審議後、以下を宣言する。

一、地球科学は、地質遺産の保存やジオツーリズムおよび世界ジオパークの取り組み推進において重要な役割を担っている。

二、住民、学者、観光業界、地方自治体、中央省庁、及びその他の関係者の密接な協力関係は、ジオパークにおける地質遺産保存や教育、観光及び適正な運営に不可欠である。それゆえ、ジオパークおよび地域の効果的持続可能な発展という目標に変わりはない。

三、アジア太平洋地域の世界ジオパーク間での交流活動を高めるためには、ＡＰＧＮ内の様々な形での情報交換交流の推進と協力、共同プログラム、目標を同一とする共同研究、交換交流などの活動を通して、ＡＰＧＮの人材資源を増強することが求められる。

四、アジア太平洋ジオパークネットワークは、２００４年にユネスコ地球科学部門の支援のもとに設立され、このたびの第３回アジア太平洋ジオパークネットワーク済州シンポジウムにて、加盟地域が１００地域となった世界ジオパークネットワークの急成長と成功を称えます。世界ジオパークは、国際的に重要な地質遺産を含む地域であり、地域遺産保護や推進、および地域の伝統と要望を尊重した、新しく総合的で、持続可能な発展を目標とした政策をおこなっている。

五、アジア太平洋ジオパークネットワークは、ユネスコジオパークプログラムの設立を通して、ユネスコとジオパークの協力関係をさらに改善するため、第３６回ユネスコ総会の決議後の取り組みを全面的に支援する。

ユネスコの世界ジオパークへの支援強化を強く歓迎する。第１９１回ユネスコ執行委員会の決定後組織されたたジオパークワーキンググループの協議の結果を了承し、現在のユネスコと世界ジオパークの強い協力関係が第３７回ユネスコ総会後、より強固なものとなることを期待する。特に、世界ジオパークが完全にユネスコの正式なプログラムとなり、両者協力のもと、世界におけるジオパーク活動をさらに推進するべきことを提言する。これは、アフリカ、ラテンアメリカ、および南・東南アジアのような発展途上国において、特に重要である。

２０１３年９月１１日
済州島